

グリスリン単独投与での排卵率

症例数	26	周期数	72
排卵症例数	20	排卵周期数	30
症例別 排卵率 (%)	76.9%	周期別 排卵率 (%)	41.7%

クロミッド無効の方がグリスリンを併用

メモ クロミッドは、PCOS の治療によく使われますが、副作用があるようです。

症例数	8	周期数	27
排卵症例数	6	排卵周期数	15
症例別 排卵率 (%)	75.0%	周期別 排卵率 (%)	55.6%

○PCOS で通院中の方にグリスリンを単独で3カ月飲んでもらう試験を行いました。

その結果、症例数で76.9%、周期数で41.7%の排卵が確認されました。

○グリスリンと同じくインスリン抵抗性を改善する働きでPCOSに用いられる薬剤クロミッドが無効だった方にグリスリンを追加し4カ月2剤を併用してもらいました。その結果、症例別で75.0%の排卵が確認されました。

単独投与が無効な場合でも併用投与により排卵が得られる可能性があることが分かりました。

なお、試験期間中にグリスリン単独の2名、クロミッドが無効でグリスリンを追加併用した1名が妊娠されました。



まとめ

- グリスリン単独で排卵できる可能性が示されています。
- クロミッドが効かない方でも、グリスリンに変えるか併用することで排卵できる可能性があります。
- グリスリンは排卵した後の妊娠の可能性を高めているようです。

グリスリンは日本でPCOSの応用特許が認められています。

元々はインスリン抵抗性の改善サプリメントとして、メタボリックシンドローム用に開発されたグリスリンですが、まったくの善意である婦人科の先生から「PCOSにいいんじゃないかな？」という提案をいただきました。

その先生は代々産婦人科の家系。研究熱心で、患者さんをとっても大切にするドクターです。先生と患者さんの信頼関係から最初の試験がスタートしました。

PCOSへの応用特許成立、日本生殖医学会での発表など、PCOSでの手ごたえを得ることができ、お悩みの方々に利用していただく機会をえることができました。



この出会いに感謝して
通常の製品以外に、小粒で飲みやすい
「グリスリントブレット」をご用意しています。